



日本風景街道大学 学生がつなぐ人と地域

宮崎大学教育文化学部
准教授 根岸裕孝



本日の講義内容

○学生がつなぐ人と地域とは（担当：根岸）

○卒業生からみた学生がつなぐ人と地域
（みやざき県民協働支援センター 桑畑夏生氏）



宮崎大学 根岸ゼミ 紹介



ゼミでは根岸裕孝准教授のもと
地域経済と地域づくりを学ぶ

テキスト輪読とともに地域の
方々と一緒に地域で何ができる
か、日々考え行動・実践をめざす

大学周辺の木花地区で実践活動

地域再生の新戦略

諸富 徹



中公叢書



活動内容

- ・ **テキスト** 諸富徹『**地域再生の新戦略**』中公叢書
- ・ 愛媛県内子町へ「**まちづくり**」の研修
- ・ 木花地区30年ぶりの**夜祭復活**
- ・ 木花地区の情報発信として**フリーペーパー作成**
- ・ 五ヶ瀬町への**スキーツアー** 熊本県氷川町 **インターンシップ**

大学教員としての挫折と経験

○2001年3月まで（約8年間）

（財）日本立地センター立地総合研究所研究員

○2001年4月より

宮崎大学教育文化学部講師（経済政策）

着任先の新人教員の問題

→行き場のない学生の引き受け役

当初のゼミ指導方針と直面した問題

- 産業立地と地域経済に関する理論に関する文献の輪読（と言っても学生用のもの）を想定
- 「学び」「基礎的な学習」からの逃走に直面
→ゼミの報告者になると欠席続く

現地見学を通じて彼らの問題関心を引き出す工夫

- 旧南郷村の西の正倉院の取り組み



他学生からの問いかけ

- 法律を学ぶものが社会をつくる（制度設計）

→ 経済を学ぶものは、落ちこぼれ

法学部：文系のなかでは、偏差値高い

文系のなかで司法試験という専門職
法律をつくる官僚の特権的存在



地方の学生が中央官僚の浮き世離れした感覚をもっていた！

現場に出て、汗をかき、考えることから離れた社会科学教育の実態

特定の分野に強くても、地域の実態がわからず、起こっている問題をどう解決すればよいのか、わからない人材

社会力と学生

- 日本の大学の立地

70年代以降：郊外へ

郊外の新しいキャンパス

「学生と社会の隔絶」 「学生街のない大学」

大学の授業にはよく出席するが・・・

学生の「社会力」が問われる・・・「社会力」

社会力とは～「子どもと社会力」

「社会」：

生活空間を共有したり、相互に結びついたり、影響を与えあったりしている人々のまとまり。また、その人々の相互の関係。

他の人と関わりを
持ちたくない若者の増加

子どもに
よる重大事件



「社会力」：

「人と人がつながり社会をつくっていく力」（筑波大：門脇氏）

社会力の欠如：若者の「非社会化」

→社会力のおおもとである他者への関心、愛着、
信頼感の欠如

子ども時代に大人や他世代との関わりの「体験」不足の深刻化

～他者との「体験」の共有化の不足～

社会を作り、運営し、変える力としての社会力

- 社会力：

社会を作り、作った社会を運営しつつ、その社会を絶えず作り変えていくための必要な資質や能力

- 他者認識の大切さ

①社会生活をともにしている人たちがそれぞれどんな社会的位置を占めて行動しているかがわかる

②相手の立場に立って、あるいは相手の身になって、ものごとを考えたりすることができる

門脇(1999)による 地域とコミュニティの違い

○地域

人間が住んでいる一定の居住区域

川 丘 役所 郵便局 駅 学校 商店 公園

・ ・ 目で見たり、身体で触れたりできる実体

○コミュニティ

目に見えるものではなく、そこに住む住民一人一人の心の中にある志向、その志向にもとづく活動の継続
・ ・ ・ 地域づくりへの活動の実態がある

学生の社会力形成と 地域づくりへの参画

- 学生の地域調査・地域づくり参画
地域の成立基盤と文化・社会経済の把握
(自然・歴史・文化・社会・経済)

専門性



発見

地域のなかに潜在・顕在化している問題群

地域の多様な資源 (人・モノ・自然・文化・建造物等)

信頼

関係者

学生

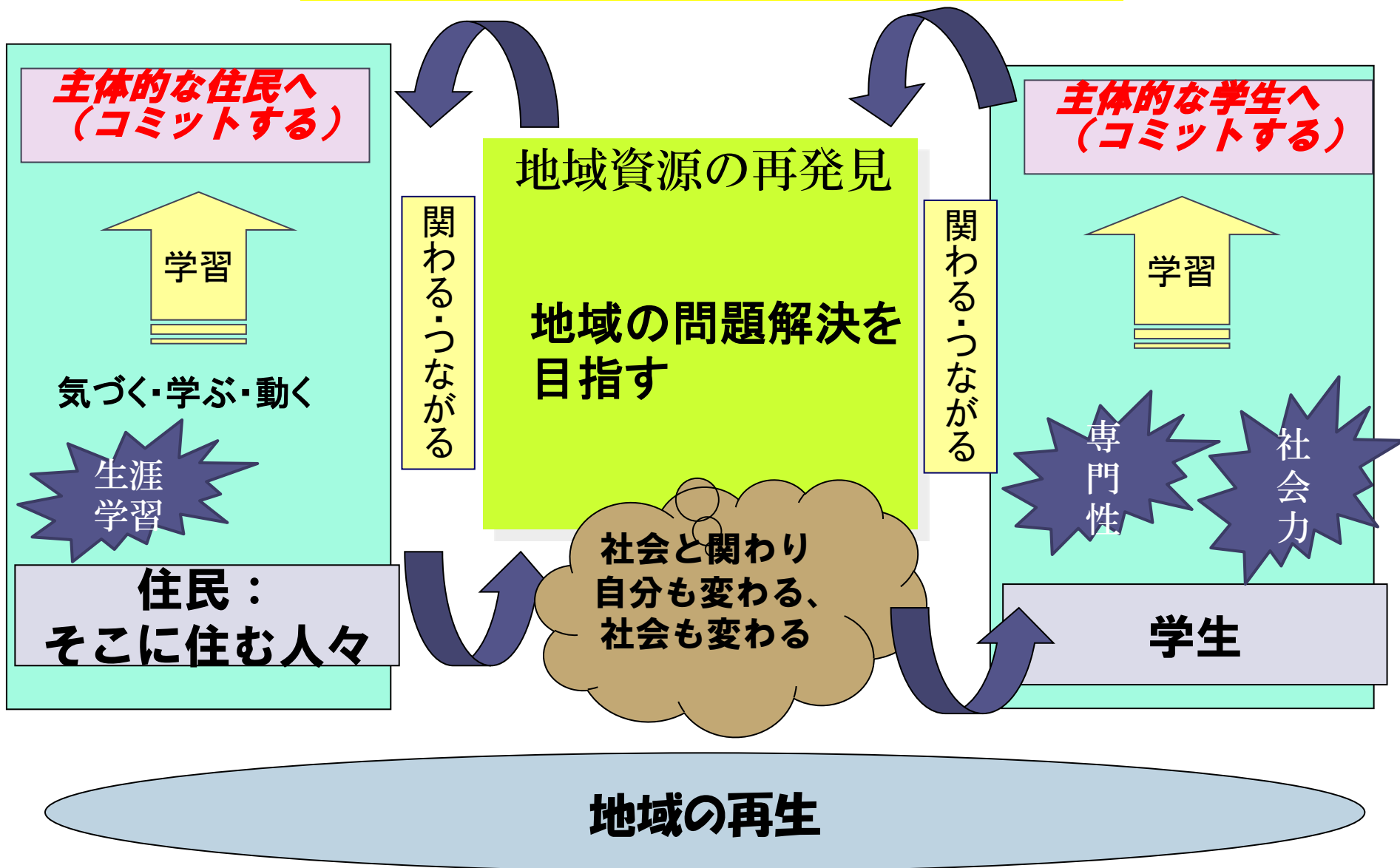
住民

協働

聞き取り・ワークショップ、報告会等による気づき・共有化

学生・住民 協働の地域づくり

地域内外へのネットワーク形成・情報発信
人的資本の形成・ソーシャルキャピタルの形成



私たちが町づくりに参加しています！



ビオトープづくり



フットパス先進地視察
(熊本県美里町)



ふれあい調査発表会



フットパス現地検討会

綾町地域づくりWGによる講義



地域と関わり社会力を持つ学生

- 社会が抱える諸問題について
何が問題なのか（問題の本質をつかむ）

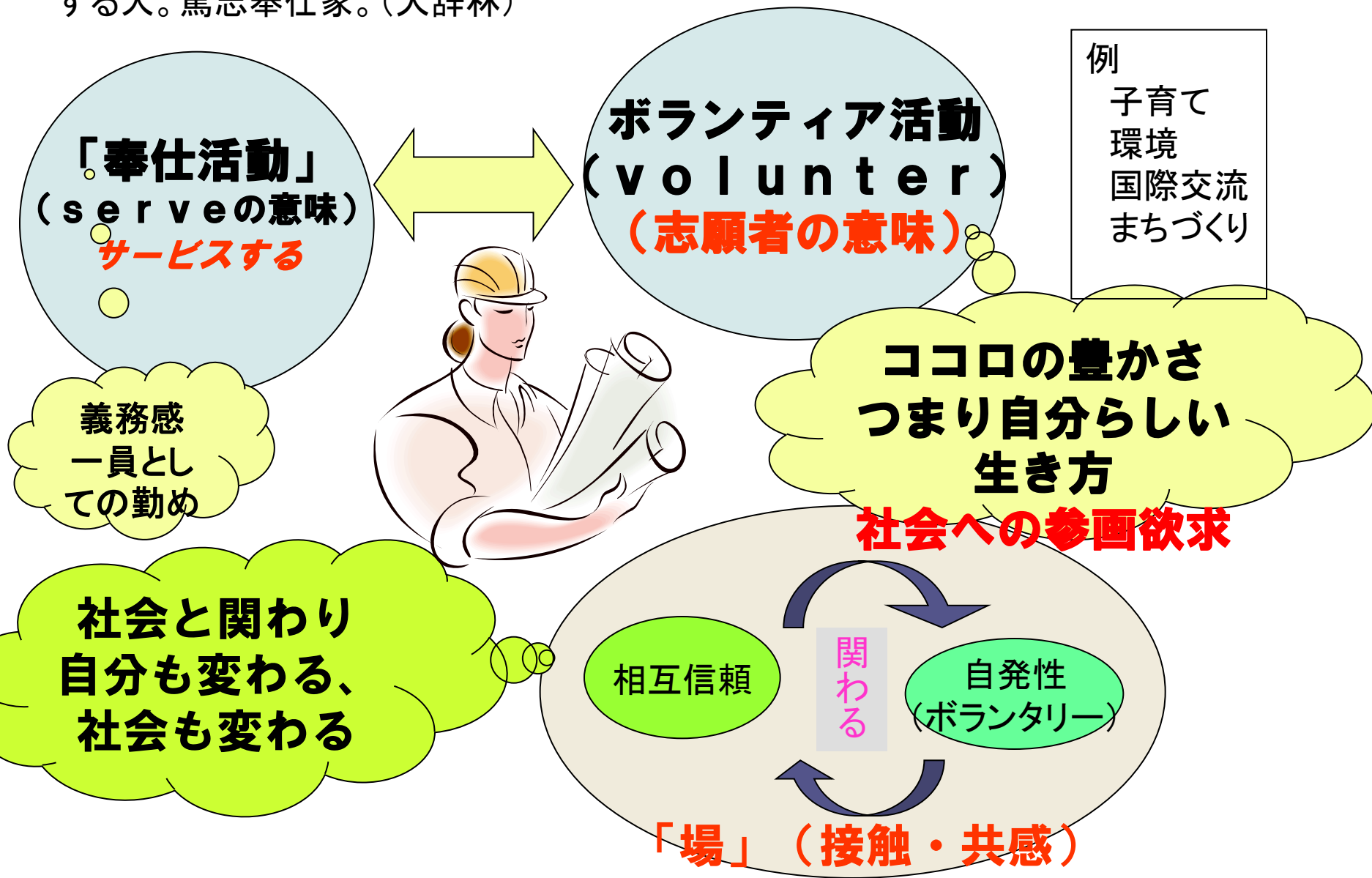
問題の解決のためには
どのようなことが必要か

誰と取り組むことが必要なのか・・・

費用をどのように調達するのか・・・等

社会への参画欲求とボランティア

ボランティア: 自発的にある事業に参加する人。特に、社会事業活動に無報酬で参加する人。篤志奉仕家。(大辞林)



諸富(2010) の地域再生の新戦略とは

- 先進国の経済構造の変化である
「経済の **非物質的** 転回」の進展に注目

所得向上

物質的
豊かさ

経済活動：「物質」から「非物質」価値重視へ
(ハードからソフトへ/モノからココロへ)

心の豊かさ・環境・安全安心・文化・芸術
デザイン・商品のメッセージ性



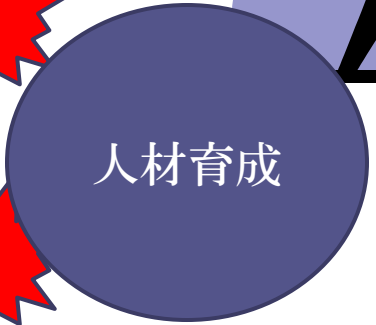
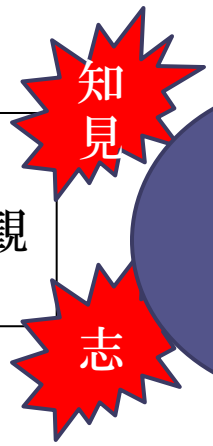
地域再生には人的資本と社会関係資本の充実

非物質的価値の創出方法とは



①人的資本の充実 (人)

人の知識・技術・思想・価値観が創造的に組み合わせられる



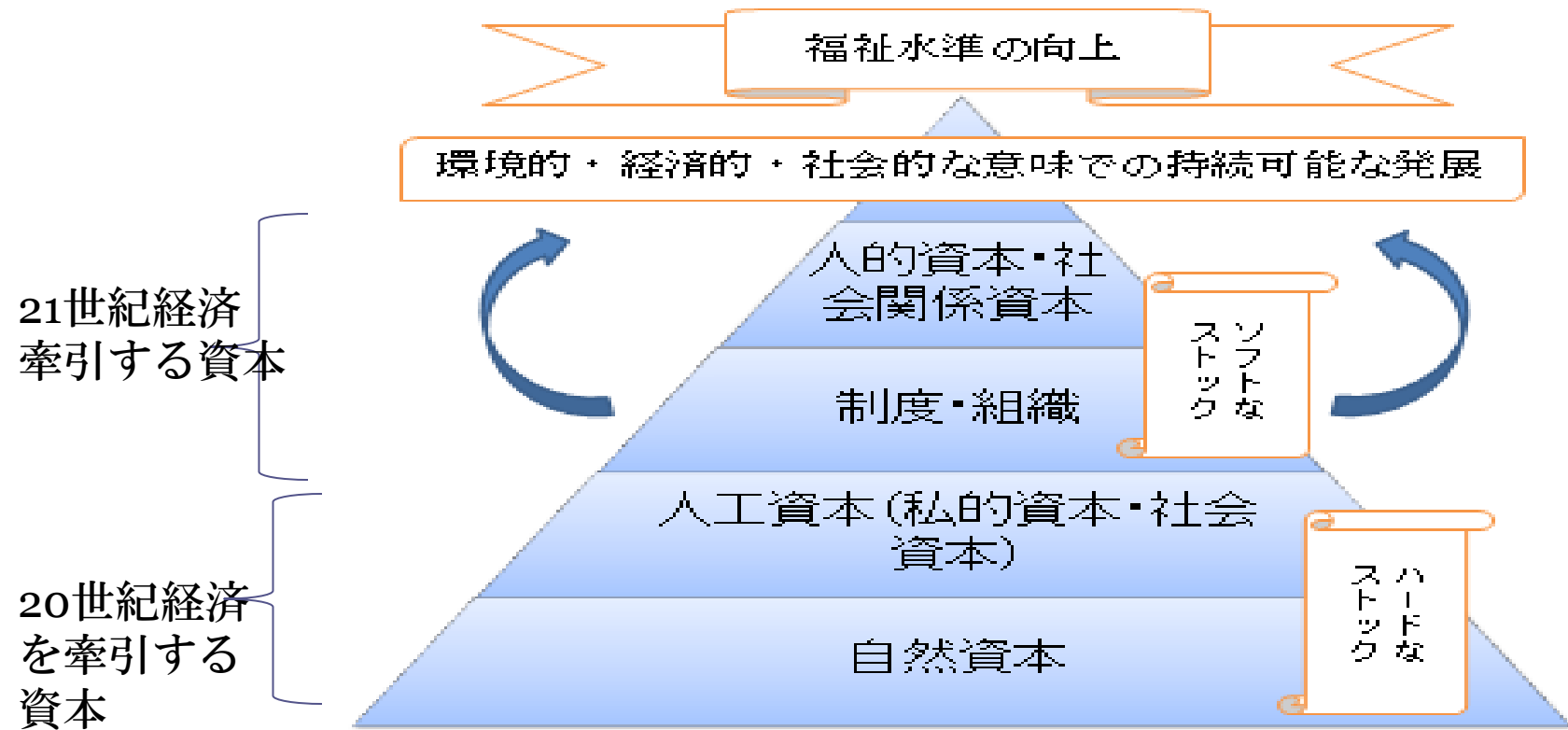
②社会関係資本 (ソーシャルキャピタル) の充実

(人々の関係性)

人間同士の相互作用による「信頼」「互恵」に象徴されるネットワーク
「知識」「動機」「価値観」「思想」が引き出される



諸富(2010)の持続可能な発展と資本概念



引用：諸富(2010)

「持続可能な発展」と資本概念の関係

ハードからソフトなストック重視へ：人的資本・社会関係資本強化・充実へ



まちなかプレイパークと道守活動

橋口慶太・橋本典明（宮崎大学）



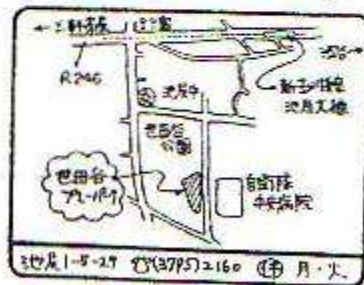
プレイパークとは

- 冒険遊び場
- 1941年スウェーデン発祥。大きな公園の一画を積極的に子どもの遊び場へ
- 自分の責任で自由に遊ぶ

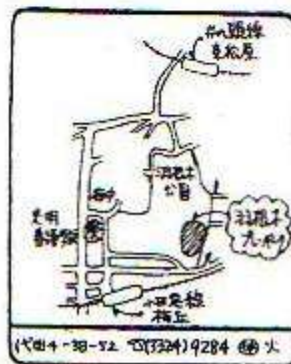
よろしくプレイパーク

『自分の責任で自由に遊ぶ』
 プレイパークは、公園での自由な遊びをめぐり、子どもたちが活躍の場となる。子どもたちの協力で運営がされています。この遊具は、巨匠の公園で作ったものではありません。子どもたちの要求に応じて、プレイパークのメンバーが中心となり、子どもたちの手で作られています。安全点検にはみんなの協力が必要です。気が付いたことは、プレイパークに知らせて下さい。
 子どもが公園で自由に遊ぶためには、事故は自分の責任という考えが基本です。そうしないと禁止事項ばかりが多くなり、楽しい遊びができません。このプレイパークのモットーは、「自分の責任で自由に遊ぶ」ことです。みんなの協力で楽しい遊び場を作りましょう。
 プレイパーク

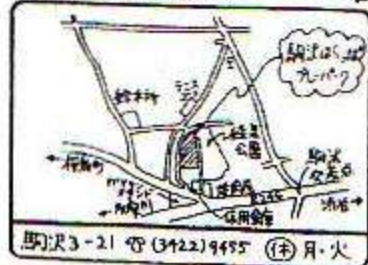
世田谷プレイパーク



羽根本プレイパーク



駒沢はらばプレイパーク



まちなかプレイパーク構想

「まちなか」は単なる商業機能ではない
人と人が挨拶を交わすコミュニティ
多様な人々が多層に接続するネットワーク
多様な文化を発信・受信する文化創造の場



宮崎市のまんなかに人が行き交う遊び場を作り出し、子どもの遊びを通して中心市街地や地域社会を活性化



プレイパーク当日（10/19）の様子









大学生による取組み



宮崎大学
経済政策ゼミによる
学童保育
「あみーキッス」

宮崎駅前商店街
(広島通り)の空店舗を活用し、
子どものたまり場づくり





多世代との交流

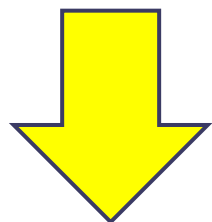


通りを通じた人と交流



まとめ

これまでの『まちなか』は単なる商業施設だった



発想転換

これからの『まちなか』は・・・

「通り」を縁とした人が行き交う遊び場を作り出し、子どもの遊びを通して中心市街地や地域社会の活性化を目指します！

H.14～15は、橋通2丁目NPO
子ども文化センター
にてゼミ実施

H.15(萌芽) H.16(模索) H.17(転機)H.18(展開) H.19(飛躍)

I. 調査研究

通行量調査・来街者調査

II 広報

フリーペーパー〇(縁)JOY

駅前宣伝板長

商店街回覧板

ホームページ作成

III. イベント

祭り(企画運営)

IV. 子ども

宿題お助け塾

縁側プロジェクト

V. 環境整備

植栽事業

VI. 地域通貨

ちやが発行

商工会議所松山さんの紹介にて始まる

ねぎゼミ活動報告書(H.15～18)

調査報告書作成

H.15報告書にて①フリーペーパーの作成、②屋外掲示板設置、③環境美化が提言される。

駅前商店街の強み・弱み・驚異・機会を分析

年6回発行、当時駅前商店街は「〇(縁)ストリート」としてのコンセプトを打ち出していた。商工会議所経由で県補助金で作成。

宮原にて企画具体化、商工会議所予算で実現

Amiy創刊

商店街内部における情報共有手段として創刊
しかし、労力多く2号で終了

予算不足や労力かかることから広報関係をホームページに集約。H.18はH.p.作成を通じて商店主と対話を意図

H.17.18年度宮大元気プロジェクト採用企画
青年部と様々な問題乗り越えて実現。

専門学校、ドロップインセンターも含めて実施。
駅前弁当の開発

宮原企画を宮崎に移植、新鮮な企画として注目される

NPOドロップインセンター協働事業

自治会との協働により実施

みやざきフラワーロードネットワーク協働事業

別府合宿にて地域通貨発行を決意。県内初の商店街との
連駅による地域通貨。実質的には割引県であるが、県内マスコミから大きく注目される。

某npo主催のイベントが空振り。Npoへの不信心高まる

H.17以前は自治会・NPOとの連携は少ない
H.17以前は自治会・NPOとの連携は少ない

イオンSC進出

植栽や諸行事を通じて自治会との連携深まる
久保田理事長から小田理事長へ交代
商店街のネット撤去

商店街の動き

若者参画のまちづくり

地域に新風

祭り運営し盛り上げ

ユニークな企画続々

駅前商店街活性化・宮崎大

空店舗の増加や、駅前商店街。この間、高崎大学教育文化で、高崎シビックセンターに止めかけようと、学部の横断政策の学ドリを企画。理量！駅前のエリアを、活性化が進む高崎市の宮崎化に取り組みている。根岸雄助教授が導成を委ねてきた。各種の企画・実行を達成した。

また同じく、店舗数 2005年同様に同様のものもある店舗に、三在野の平教下に、本まちづくり研究のとの思いで、二になる。管営める高崎商店街 三十九人が、同商店とができた。七、七、七の、酒井伸介さん(三三三)年。

十月九日開かれた祭りの本音は、ダンスコンテストやスタンバイなど若い層を取り入れたイベントであった。学生「祭りに新風を吹き込みたい」という目標を達成した。

学生は活動は商店街にとっても大きな物策になった。「企画書は部の商店街が中心で、森の盛りの上の方に、いたと振る舞う同部青年部の企画書も、若者の頑張る姿を見て「まず自分たちが本気で動かなければ」と意識したい。



駅前商店街を盛り上げようと、店の関係者の意見を取り、高崎大学経済政策ゼミの学生たち

参加した。学生は七月から「ラム作成や会議設計、PR活動を積極的に推進。同組合との意思疎通を図るため、会場の会場も調整に開催した。「最初には学生と店主との間に壁を感じたが、「再びに

同ゼミは今年も同商店街を賑わす場として、活性化策を練る。久保里さんは「まちづくりの力は欠かさない」と今後「期待を寄せている」。

宮崎駅前商店街祭り運営



通りの40%が駐車場の商店街(宮崎市内)



学生・自治会・NPO・商店街の協働 宮崎駅前商店街





花の植え方を教わる







**キレイな花を
植えると
笑顔があふれる**



宮崎駅前商店街「Re New Festival」

10月14日(土) 当日の様子



経済政策研究室のメンバー



